

研究課題名	口腔および全身の健康と唾液因子との関連
研究責任者名	広島大学病院 口腔検査センター 教授 加治屋 幹人
研究期間	許可日 ~ 2029年3月31日
対象者	2015年4月~2028年3月の間に、広島大学病院歯科外来で唾液検査を含む口腔検査を受けた患者さん
意義・目的	唾液はお口を湿潤に保ち、食事や発語などに役立つ一方で、唾液量の低下はむし歯の発生や誤嚥性肺炎の発症といった口腔・全身の健康に関与することが知られています。しかしながら、成人のシェーグレン症候群の診断基準（刺激時唾液分泌速度：1.0 ml/min）を除く唾液関連の基準は明確に定まっておらず、口臭やその他の口腔・全身の健康との関連も不明な点が多く残されています。この研究は、当院歯科外来・口腔検査センターで唾液検査を含む口腔関連の検査を実施した患者さんを対象に、唾液因子とその他の検査結果を用いた解析を行い、唾液因子の年齢ごとの差やお口と全身の健康への影響について明らかにすることを目的としています。この研究によって年齢ごとの唾液分泌量の基準値や、唾液分泌の低下と口腔・全身状態との関連に新たな知見が得られれば、口腔乾燥が関与するとされる多くの疾患の診断・予防・改善方法の開発につなげることができます。
方法	歯科外来にて通常の診療に必要な唾液検査とその他の口腔検査（口臭検査、う蝕リスク検査、咀嚼能力検査、咬合力測定、舌圧測定、歯周組織検査、口腔機能検査など）を実施した結果を使用します。検査結果と患者情報（年齢、性別、既往歴、服薬歴、歯式など）の関連について検討します。
共同研究機関	当科のみでの研究になります
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 口腔検査センター 教授 加治屋 幹人
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5703 (内線 3352) 広島大学病院口腔総合診療科（口腔検査センター） 歯科診療医 大林 奈美